

チーム1010-4の取り組み

年	内容	論文・書籍(共著含む)	患者家族・一般向けのアウトカム	受賞
2002年度	東名古屋病院で進行性上肢麻痺の転倒調査開始	・パーキンソン病講座、転倒・転落及びその防止対策—進行性上肢麻痺及びパーキンソン病について— 難病と在宅ケアVol.8 No.4:57-60. 2002/7 ・進行性上肢麻痺患者の転倒・転落—パーキンソン病との比較検討—。医療。57 (No.3):177-180. 2003.3.		
2003年度	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費(15指-3)「政策医療ネットワークを基盤にした神経疾患の総合的研究」(主任研究員 遠藤龍彦)転倒・転落小委員会にて共同研究開始 「進行性上肢麻痺とパーキンソン病患者の転倒・転落」			
2004年度	同研究班 転倒・転落小委員会にて神経疾患入院・在宅患者における転倒の多施設共同研究	・進行性上肢麻痺患者の転倒・転落—多施設共同研究—医療。58(4):216-221. 2004.4.20		
2005年度	同研究班 転倒・転落小委員会にて神経疾患在宅患者における転倒の多施設共同研究前向き研究	・歩きにくい、転びやすい。診断と治療。93(8):1259-1263.2005.8.1 ・進行性上肢麻痺における転倒・転落防止の為の介護のポイント。医療。59(9):486-490.2005.9.20 ・神経疾患における転倒・転落の特徴。医療。60(1):15-18.2006.1.20 ・進行性上肢麻痺における転倒・転落の特徴。医療。60(1):19-22.2006.1.20 ・神経疾患患者の転倒・転落防止対策。医療。60(1):50-53.2006.1.20	「自宅で転ばないために～神経疾患患者の転倒・転落予防マニュアル」	国立医療学会 塩田賞受賞「進行性上肢麻痺患者の転倒・転落—多施設共同研究」
2006年度	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 神経疾患の診断・治療・予防に関する包括的臨床研究班(18指-9)(班長 久野貞子)の転倒研究グループ責任者となる			
2006年度	在宅神経疾患患者に対する「転ばない生活講座」による転倒・外傷予防効果の検証		入院患者における転倒防止対策フローチャート	
2007年度	パーキンソン病在宅患者に対する「転ばない生活講座」による無作為割り付け多施設共同前向き研究			
2008年度	パーキンソン病在宅患者に対する「転ばない生活講座」の長期的転倒・外傷予防効果の検証	・特集 転倒・転落をめぐる 神経難病を扱う病棟における転倒発生率と転倒予防対策。日本医師会雑誌。137(11):2291-2295. 2009.2	在宅神経疾患患者に対する「転ばない生活講座」DVD	
2009年度	国立病院機構EBM研究「医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同前向き研究(J-FALLS)」採択	・神経疾患にみられる転倒・転落と徘徊—予防と対策—。Medical Practice 26(12):2057-2062. 2009.12.1		
2010年度		Parkinson病と転倒。神経内科 74(1):73-78. 2011.1	入院患者に対する転倒予防パンフレット 神経難病患者における自主トレーニング手帳(療養手帳)	
2011年度	転倒防止に対する神経難病棟スタッフ教育の実践—「転倒予防トレーニング」の効果— 自作川柳による転倒予防啓発活動の効果検証—転倒発生率の変化とアンケート調査—	・「転ばない生活講座」の転倒・外傷予防効果。難病と在宅ケア 17(8):37-40.2011.11.1 ・転倒防止に対する神経難病棟スタッフ教育の実践—「転倒予防トレーニング」の効果—。医療 65(11):562-566.2011.11 ・「転倒患者率」と「転倒事象率」 今月の用語 隣に伝えたい新たな言葉と概念。医療 65(11):566.2011.11		国立病院機構QC活動 東海北陸ブロック 特別優秀賞受賞 「自作川柳による転倒予防啓発活動～川柳で転倒予防に取り組みよう～」 転倒予防医学研究会 転倒予防大賞2011 実践部門大賞受賞 国立病院機構東名古屋病院 チーム1010-4「自作川柳による転倒予防啓発活動の効果」
2012年度	ポスター掲示によるトイレでの転倒予防啓発効果		転倒予防川柳日めくりカレンダー	
2013年度	外出治時における転倒の実態調査～外出治時記入用紙の有効性について～			転倒予防医学研究会 転倒予防大賞2013 学術部門大賞受賞 J-FALLS 研究グループ「要介護者における転倒による重篤な有害事象発生率および関連要因の検討—医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同前向き研究— Japanese prospective fall study in elderly patients under Home nursing care (J-FALLS)～」
2014年度	facebookページを開設 転倒予防川柳メールマガジン配信開始	「転倒防止日めくり」(PHP研究所)		
年1月～2016年1月		国立医療学会誌 医療 図説シリーズ「転倒予防」		
2015年度		エキスパートエキスパートナース 9月号 転倒予防Q&A (照林社)		
2016年度		・多職種で取り組む 転倒予防チームはこう作る！(新興医学出版社 編者 武藤芳照、鈴木みずえ、斎場郁子) ・特集/メデイカルスタッフシンポジウム3: 神経疾患患者の転倒を予防するために —チームで取り組む転倒予防～医師の立場から。神経治療学 33(2):245-249. 2016.8.19		日本転倒予防学会 優秀論文賞JSFP Best Paper Award 2015 受賞 要介護者における転倒による重篤な外傷の発生頻度および特徴～医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同前向き研究(J-FALLS)～
2017年度	日本転倒予防学会より、「カメラを用いた転倒転落予防システム」(安全看護システム フクダ電子株式会社)の効果検証研究を受託 骨折後回復期リハビリ患者における栄養状態が移動能力・自宅復帰に及ぼす影響調査	・日本転倒予防学会認定 転倒予防指導士公式テキストQ&A (新興医学出版社 編者 武藤芳照、奥泉友康、北浦口 純) ・認知症者の転倒予防とリスクマネジメント(日本医事新報社 編者 武藤芳照、原田 敦、鈴木みずえ)	転倒予防カレンダー—2017 中日新聞「医心伝」に転倒予防の取り組み紹介	
2018年度	多職種で、多面的な転倒予防を行うための手帳を作成 回復期リハビリ病棟におけるリハビリテーションとサルコペニアの調査 「多職種で転倒予防に取り組もう」院内勉強会開催	・Medical Rehabilitation 多職種協働による転倒予防 私たちの取り組み(全日本病院出版会 渡邊 進編集) ・転倒による骨折後患者における回復期リハビリテーション病棟入浴時の栄養状態が日常生活動作及び自宅復帰率に及ぼす影響:後ろ向きケース・コントロール研究。日本転倒予防学会誌 Vol5.No.1. 81-89. 2018	転倒・骨折予防手帳	日本転倒予防学会 若手研究奨励賞JSFP YOUNG RESEARCHER'S AWARD 2018 山本悠太、転倒による骨折後患者における回復期リハビリテーション病棟入浴時の栄養状態が日常生活動作能力及び自宅復帰率に及ぼす影響:後ろ向きケース・コントロール研究
2019年度	転倒・骨折予防手帳に対するアンケート調査 認知症患者に対する「笑顔の約束プロジェクト」	・転倒予防白書2019(日本医事新報社 武藤芳照、原田 敦、鈴木みずえ 編集) ・「転ばない生活」をあらかじめで パーキンソン病の転倒予防のためにできること。マックス第52号 QOL維持・向上委員会2019		
2020年度	脳卒中発症後の骨格筋量の推移と関連因子に関する研究—急性期・回復期共同研究—	・CQ10B-1「転倒・外傷の頻度と特徴は? CQ10B-2「転倒を減らす方法は? CQ10B-3「外傷を減らす方法は? CQ10B-4「リハビリテーションは転倒防止に有用か? 神経治療(神経治療学) 進行性上肢麻痺(PSP)診療ガイドライン2020(編集:進行性上肢麻痺(PSP)診療ガイドライン2020作成委員会。監修:厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)「神経変性疾患政策研究事業」「神経変性疾患領域の基盤的調査研究」。一般社団法人日本神経治療学会) 37(3):481-485.490-491 2021.2.5公開 ・神経疾患患者の転倒予防マニュアル(新興医学出版社 監修:日本転倒予防学会 編者:斎場郁子、鮫島直之、武藤芳照)2021.3.31	家での転倒を防ぐには。NHKジャーナル(ラジオ第一)2020.11.4	
2021年度	You Tube動画制作 東名古屋病院team1010-4プレゼンツ 「神経難病患者さんの転倒予防のコツ伝授！」 Hybrid Assisted Limb (HAL)実施患者における転倒・骨折調査	・CQ10B-1 転倒・外傷の頻度と特徴は? CQ10B-2 転倒を減らす方法は? 大脳皮質基底核変性症(OBD)診療マニュアル2022(作成・編集:大脳皮質基底核変性症(OBD)診療マニュアル2022作成委員会 監修:厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)「神経変性疾患領域の基盤的調査研究」)p.51 2022.3.15	・NHK ラジオ深夜便 からだの知恵袋「川柳で転倒予防」シリーズ 1「転ばぬ先のこの一歩 2「家が危ない? 転倒を予防する生活」2021.4.14. 4.21.4.29 ・放送ベストセレクション からだの知恵袋プレゼンツ100 歳時代を元気に生きる! 川柳で楽しく転倒予防。月刊ラジオ深夜便 8月号(通巻253号)(NHK サービスセンター)p.76-83. 2021.8.1 ・You Tube動画アップ 東名古屋病院team1010-4プレゼンツ「神経難病患者さんの転倒予防のコツ伝授！」	
2022年度	在宅・病院・施設で活かせる転倒予防川柳集の作成 You Tube動画英語版試作 東名古屋病院team1010-4プレゼンツ 「神経難病患者さんの転倒予防のコツ伝授！」	・各論Part1 多様な現場における転倒予防チーム1.病院における転倒予防チーム ③慢性期病院(神経難病棟)～東名古屋病院の取り組み～ 各論Part2 転倒予防チームにおける各職種の役割 1 医師の役割 4 薬剤師の役割 5 管理栄養士の役割 6 医療安全管理者の役割 ここまでできる! これならできる! 転倒予防チーム活動実践と予防策の最前線。月刊ナーシング(Nursing)42(9):39-43. 52-54. 64-69. 70-74. 75-79. 2022.7.20		